



大分から

## 野菜のカメムシはバーナーの熱風で退治

一圓仁

野菜につくカメムシは他の虫より農薬が効きにくい厄介もの。由布市の小野寛さんは小型の草焼きバーナーを使って退治しています。

昨年の夏、ピーマン近くの草をバーナーで焼いていたときのこと。吹き上がった熱風が株に当たり、カメムシがポトポト地面に落ちてきたそうです。落ちたカメムシは羽と脚が焼けて、動けなくなっていたので、あとはそれを踏んづけてやれば駆除完了。「クスリいらずで、こりゃいい！って万歳しました」と大喜びです。

同じ場所をじつくり焼くと、近くの株が傷んでしまうので、あくまで熱風を当てるために歩きながら焼くのがコツ。ナスやシシトウにも効果的で、カメムシには一切農薬散布しなくなつた小野さんです。





新潟から

## エダマメ洗いは中古の洗濯機で

稲福真一

新潟市の川又弘子さんは、エダマメ洗いに中古の家庭用洗濯機を活用しています。雨の後の



泥落としに重宝していて、今使っている洗濯機は4台目、リサイクルショップで購入したものだそうです。

洗うときは種モミ用ネットにエダマメを詰めます。入れすぎるとネットの中でマメが動かず、うまく洗えないので、少し余裕をもたせるのがポイント。大きな泥汚れは事前に桶につけて水洗いしておき、洗濯機に入れてからは、1分洗い＋2分脱水で出来上がり。細かな汚れがきれいに落ちて、水気も切れたエダマメをコンテナで出荷します。

水洗いすることでエダマメの温度が下がるのもいいところです。市場につくまでの間、エダマメが袋の中で汗をかいてしまうことも減りました。鮮度が落ちやすいエダマメをきれいな荷姿で店頭に並べるための一工夫です。



青森から

## ブドウ畑にニワトリ放してナメクジ駆除

樋口維史

鶴田町の奈良順子さんのブドウ畑には元気に走り回るニワトリが5羽。このニワトリたちが雑草に潜んだナメクジを草ごと食べてくれます。最近はブドウの実がナメクジの粘液でテカテカに汚されることもなくなりました。

日中はブドウ畑で遊ばせ、夜はアライグマの被害にあわないように畑に設置した小屋で寝かせます。ブドウ畑に放すのは雪解け後の4月から実が色づく8月20日前後まで。それ以降はブドウの実にニワトリが悪さしないように、小屋で飼育します。ブドウ畑には雪が多く積もるので、冬前にはフォークリフトで小屋ごと車の荷台に積んで、自宅の庭に連れて帰るそうです。

もともとペットとして飼い始めたニワトリたちを、ブドウ畑に連れて行ったのははじまりです。「コッコちゃんって呼べばどの子も寄って

きて、かわいい。忙しい作業中も癒されるの」と奈良さん。産んだ卵は道の駅に出荷。可愛がられたコッコちゃんたちの卵は大好評です。



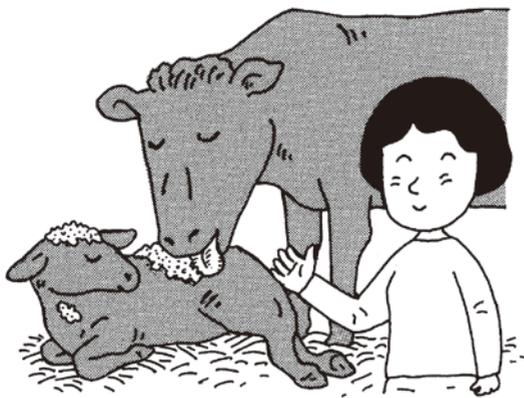


大分から

## フスマふりかけて母牛の育児放棄ゼロ

香川貴文

生まれたばかりのベトベトの子牛を母牛が舐める行為は、親子の大切なコミュニケーション。舐められることで子牛の血行は促進され、立ち上がりも早く、丈夫な牛に育つそうです。



「でも最近は育児放棄する牛が増えてきたの」というのは竹田市の井紀志恵さん。なかには子牛を嫌がって蹴つてしまう母牛もいるそうです。なんとか母牛が自発的に子牛を舐めないものかと考えた井さん、生まれた子牛の頭やお腹にフスマを一つかみふりかけてみました。すると、母牛は子牛に近づいてべろべろ舐め始め、徐々に母性にスイッチが入るのか全身をくまなくきれいにしてやったそうです。子牛はやがて立ち上がり、しっかり母乳を飲みました。

「最初の一舐めさえすれば、次の出産のときは自分から舐めるようになるのよ」と井さん。最初に人が過保護にすると母牛は子育てにさらに消極的になり、人任せにしてしまいます。人の役割は親子の絆の橋渡しまで、というわけですね。



## あっちの話

福島から

### 実の形を残したまま 特製ブルーベリージャム

渡邊紗恵子

平田村でブルーベリー栽培歴20年の國井八代江さんのジャムは、形がそのまま残った実がたっぷり。秘密はホワイトリカーにありました。

夏の間の忙しい時期はとりあえず収穫するだけ。ブルーベリーは軽く水洗いし、ホワイトリカーに漬けて込んで日陰に保管しておきます。漬けきれなかった実は袋に入れて冷凍しておき、3カ月後、農閑期になったらジャム作りです。

冷凍500gとホワイトリカー漬け500gをテフロン加工のフライパンに入れ、250gの白砂糖を馴染ませたら一緒に中火にかけます。焦げないようにかき混ぜると、冷凍のものは実が崩れますが、ホワイトリカー漬けはつぶつぶの果実のまま。冷めるとジャムは少し硬くなるので緩めのうちに火を止めてビン詰めしたら完成です。

「歯ごたえが残ってて味に深みもあるの。ヨーグルトやホットケーキにかけて食べるとほんと絶品よ」と、嫁の美智子さんからも太鼓判の一品です。

